犬狼伝説

KERBEROS PANZER COP

ACT.5

原作
押井守

作画
藤原カムイ

布
ACT.5 軍用犬
THE MILITARY DOG

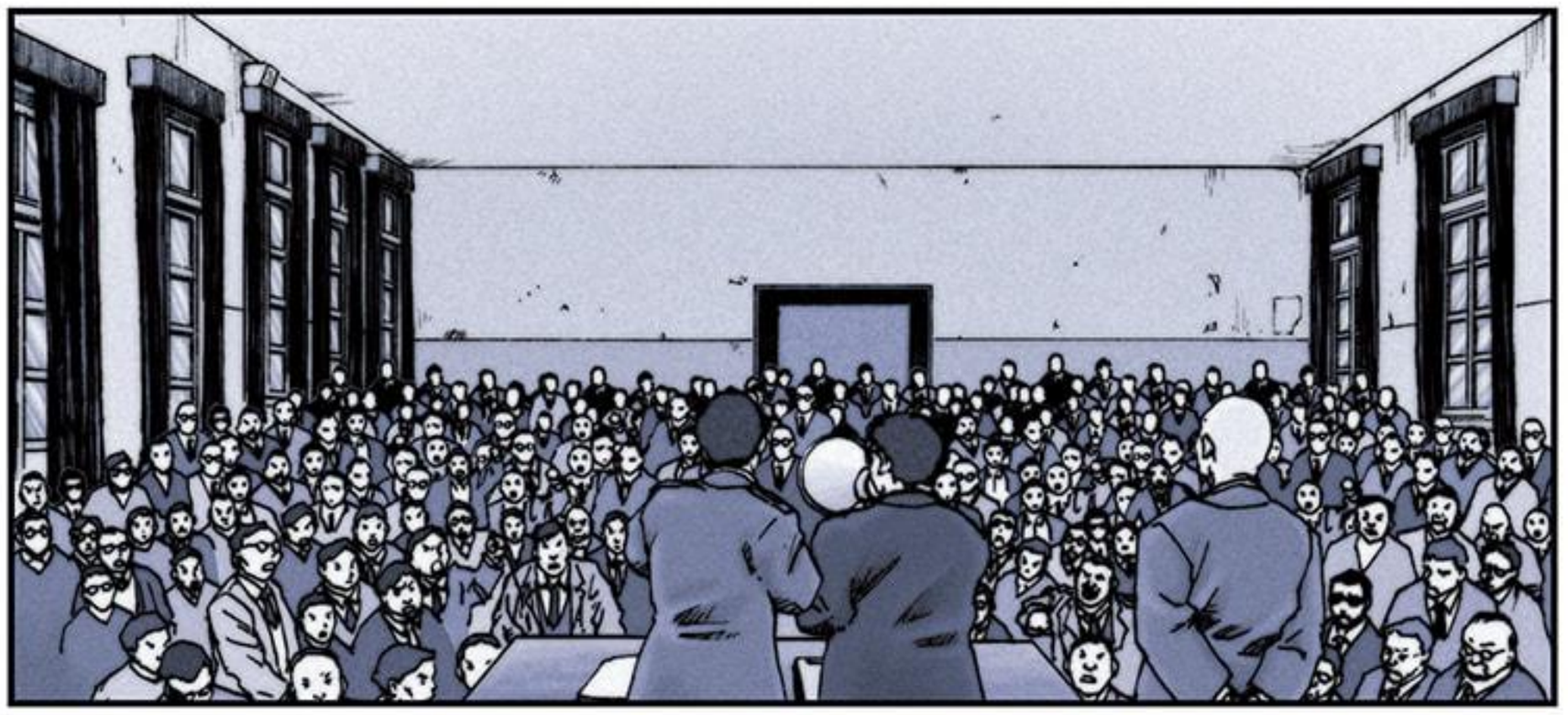
あの決定的な敗戦から
××年——

強引な経済成長が生み出した失業者の群れ、その都市流人によるスラム化を温床として激増した組織的凶悪犯罪、変革を唱えて武装闘争を操り広げる反政府勢力の台頭

これらの勢力に対抗すべく創設された首都圏治安警察機構　通称［首都警］は、しかしその誕生の時から苦難の途を歩むべき宿命を負っていた

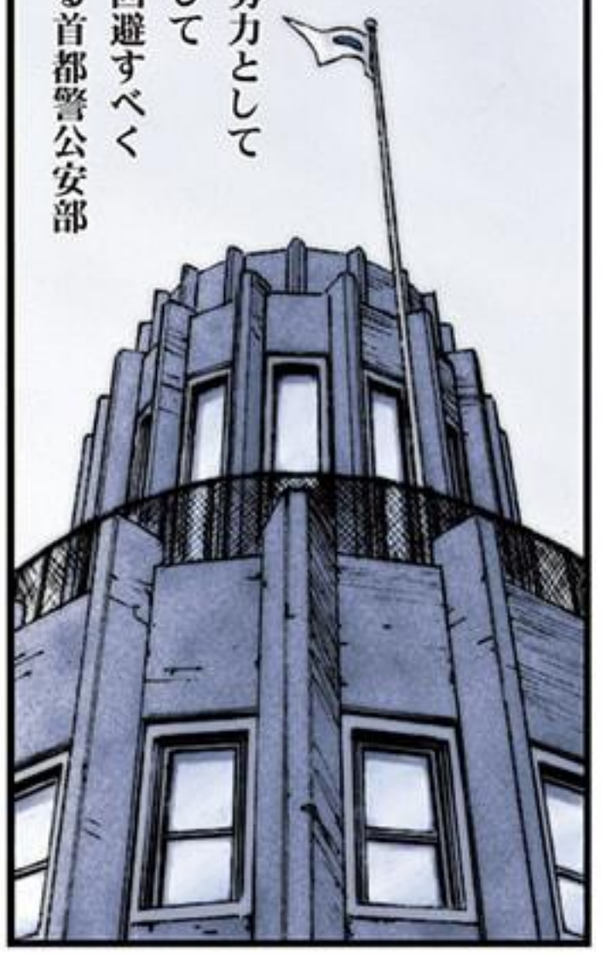
占領軍統治下の混迷からようやく抜けだし、国際社会への復帰を図るべく「高度経済成長」の名の下に強行された急速な経済再編成が、その実を結びつつあった一方で、この国は多くの病根を抱えていた

わけても首都警の中核を成す特機隊は、
その過剰とも言える戦闘力と
急進的な主張ゆえに多くの敵対勢力との
闘争を余儀なくされていた

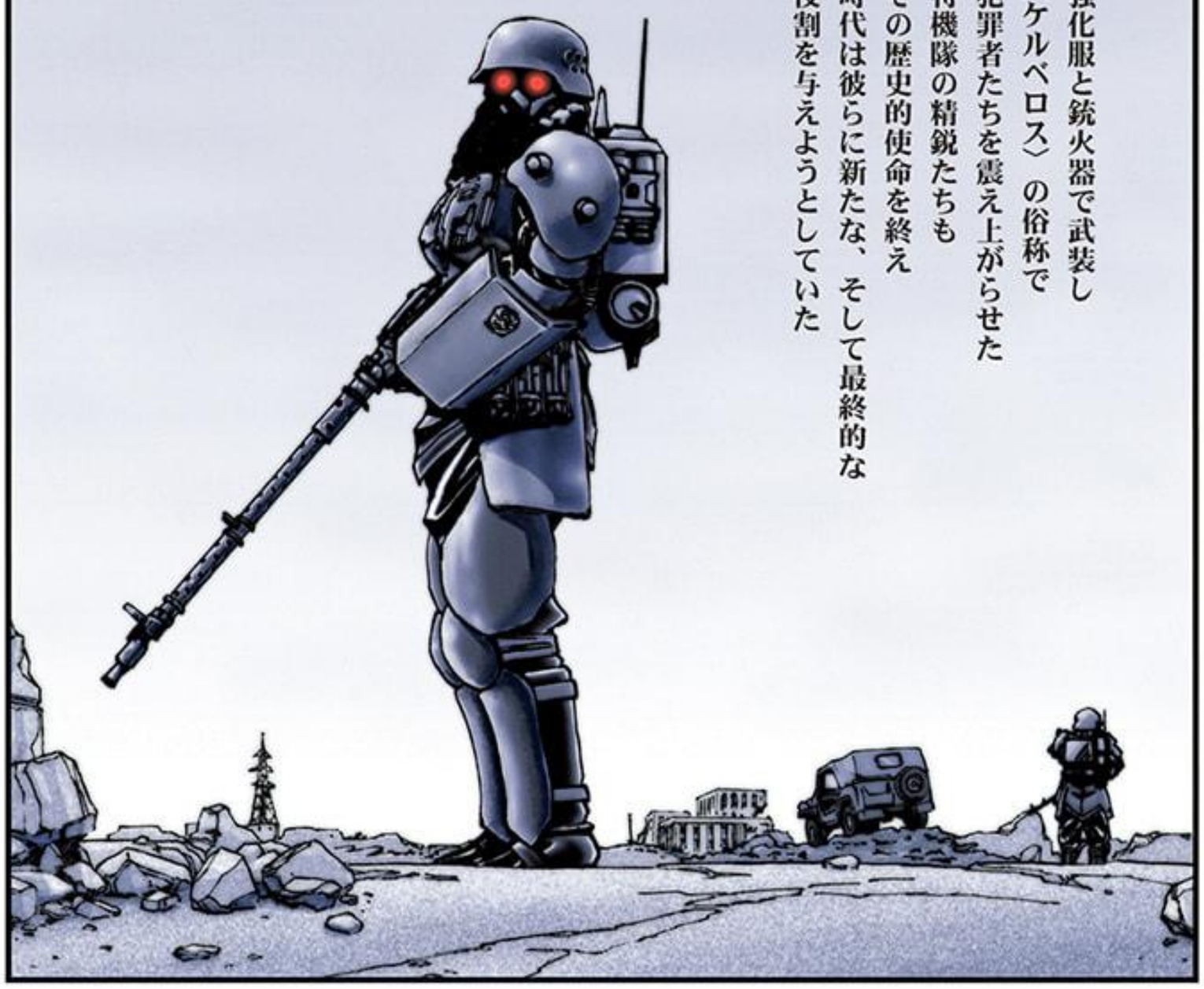


当面の敵である
反政府勢力の
急先鋒武装集団〈セクト〉
首都警を解体し
国家警察への昇格を
目論む自治警

特機隊を第三の武装勢力として
警戒する自衛隊、そして
首都警存亡の危機を回避すべく
特機隊解体を画策する首都警公安部



強化服と銃火器で武装し
〈ケルベロス〉の俗称で
犯罪者たちを震え上がらせた
特機隊の精鋭たちも
その歴史的使命を終え
時代は彼らに新たな、そして最終的な
役割を与えようとしていた



闇夜に光る狼の目は悪魔のつくりしもの
ただ愚者と心の盲いたるもの　これを美しく
かつ楽しきものと見る

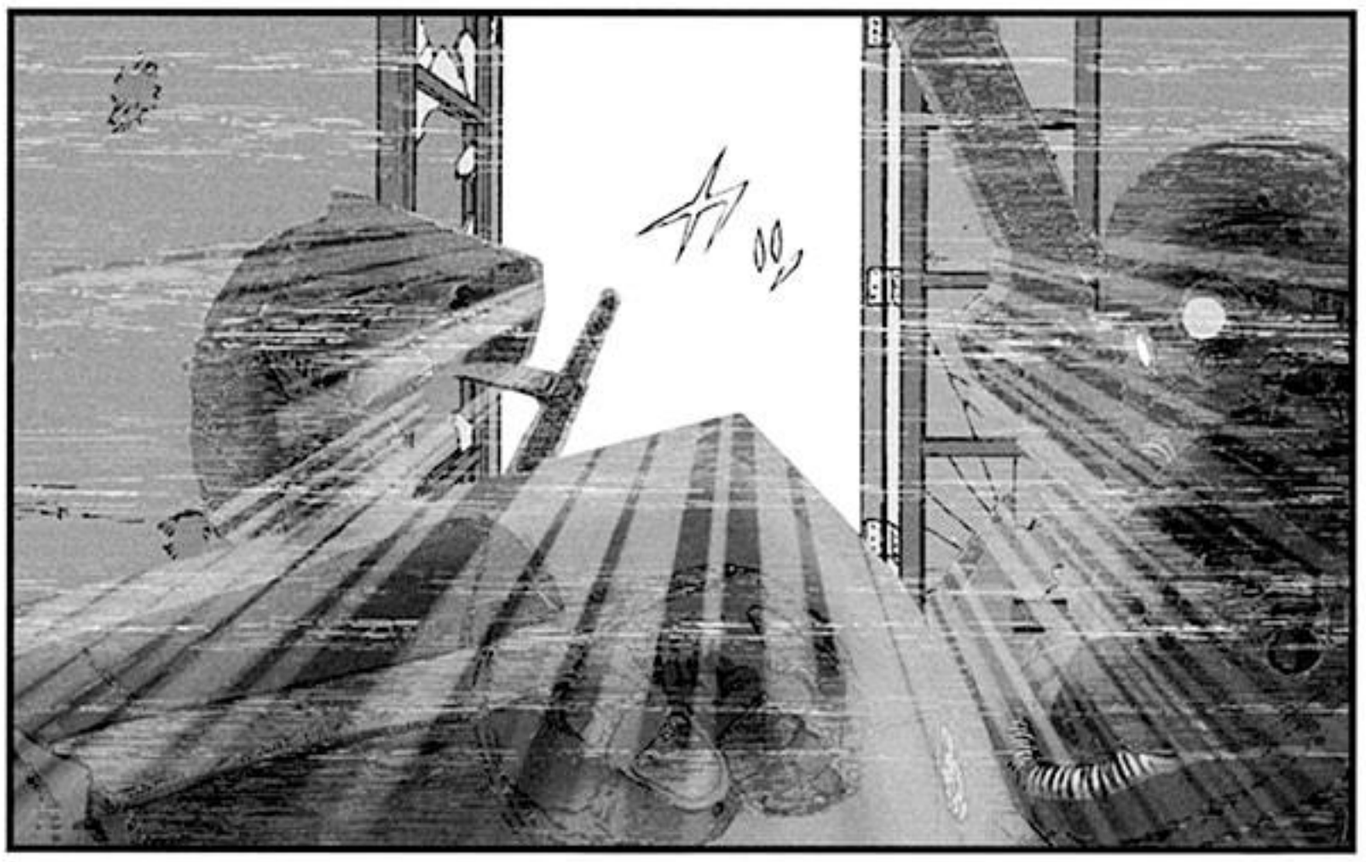
ーピエール・ド・ボーヴェー『動物誌』

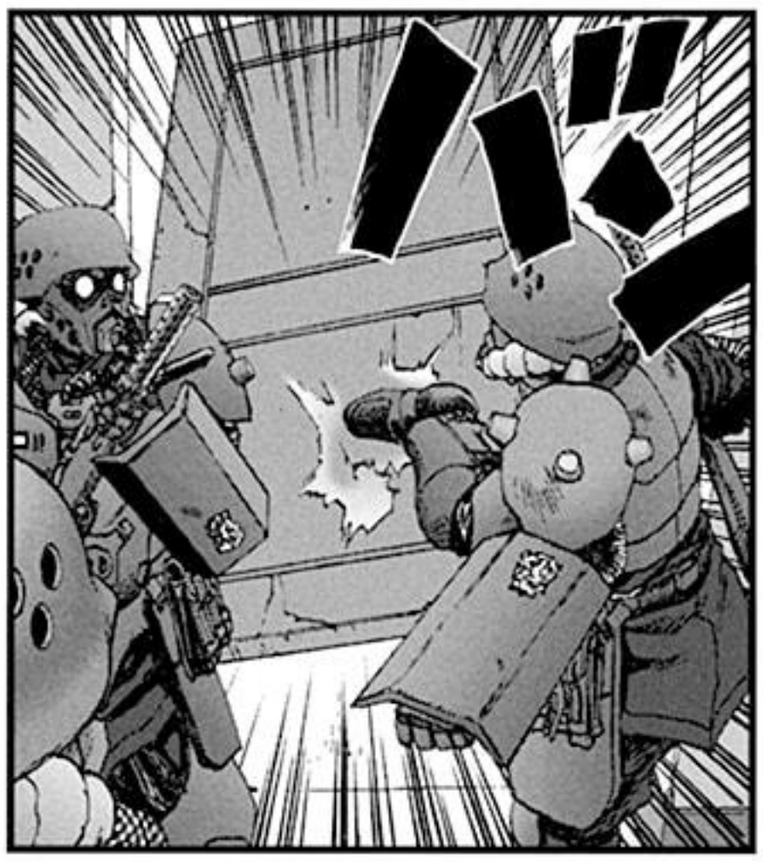
……妙な
気分だな

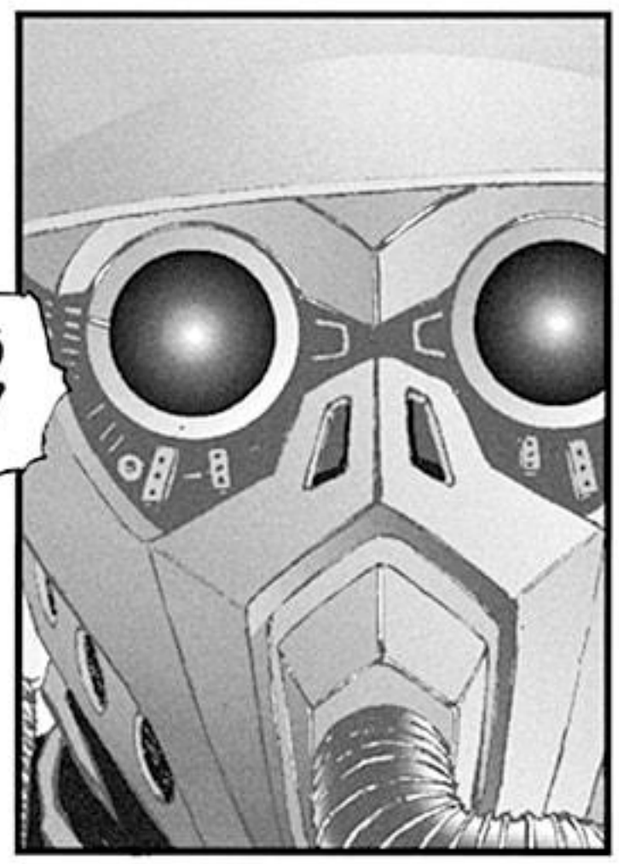
ああ
体は軽いのに
視界が重い
潜水夫に
なったような
気分だ

無駄口を
叩くな
状況開始！

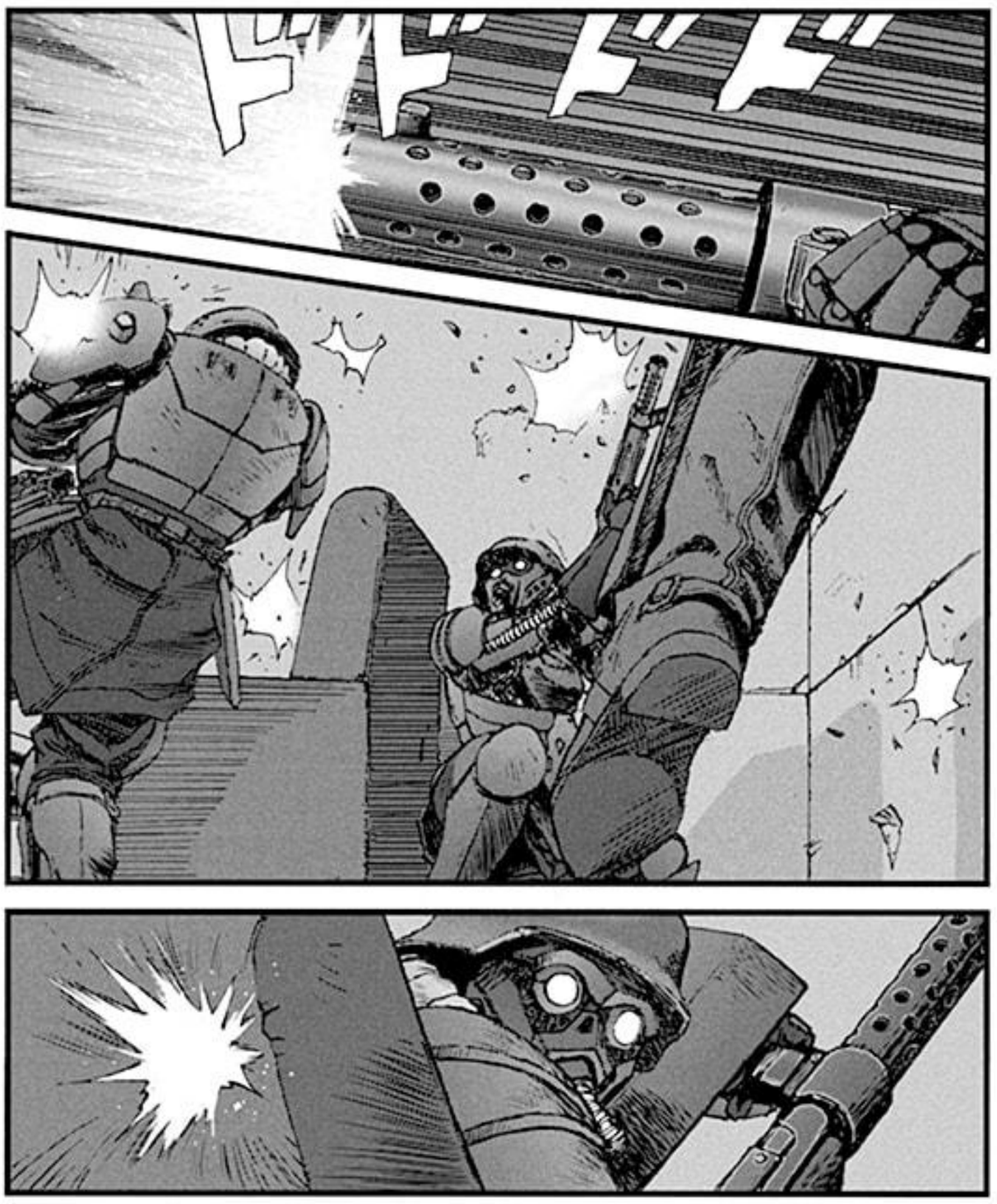
ガ ン




バ
バ


う！

バ
バ
バ
バ


ド
ド
ド

!

カチッ

Rauch

ドドド

ドドドドド

状況終了

死亡4
戦闘不能2

暗視装置の弱点に
ついては事前に報告
した筈だったな

自分が今
どこに
居るか！

室内の
状況は！

ドアの向うに
何が予想
されるか！

建物内の
空間の把握が
いい加減だから
事態の急変に対処
できんのだ！

強化服は着装時の
死角を体で憶え

互いに援護し合って
はじめて その能力を
最大限に発揮するんだ

目の前の状況に
振りまわされて
フォーメーション
を崩すな！

装備を
過信するな
！

もっと
頭を使え！

ポン

済まなかったな
第一線の現役に
新人の相手なんぞ
させちまって

あの連中
……

ん？

動きは よく訓練されてますが
何だか向き合った感じが

……

習志野から来たお客さんだ

…空挺？

聞いてるだろ
一部の部隊に強化服が導入されるって噂

…対機甲戦闘を含む市街戦を想定した正面装備の拡充ってやつだが

来期から正式に部隊運用を開始する事になったらしくてな

一個小隊24名
6週間の習熟訓練後に原隊復帰
全員が教導部隊の教官におさまるエリートだそうだ

でも何故陸自の隊員がここに

本部の安仁屋部長から正式に回ってきた話だ

今まで培ってきた養成校の戦技訓練の真髄を叩きこんでくれと

…まあ表向きはともかく

隊内に特殊部隊を創設して警察庁を牽制しあわよくば……

首都警創設時の経緯もある事だしな

防衛庁や公安委員会の役員共はともかく

なんで部長がこんな見え透いた話にのったのか…

政治的配慮だかなんだか

上の方の事は判らんが預っちまった以上いい加減な事もできんしな

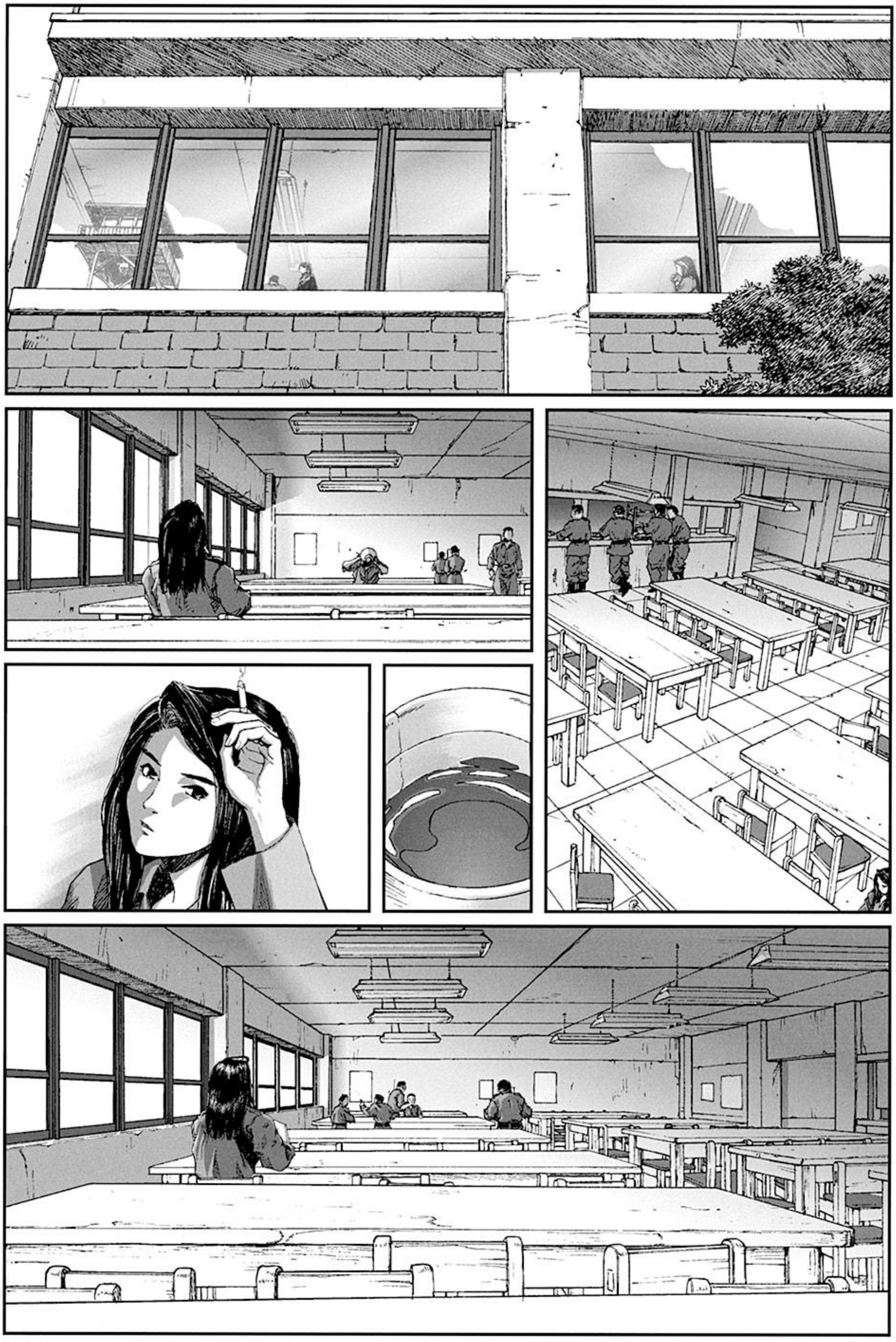
しかしまあこの程度の速成でものの役に立つ部隊ができるとも思えんが…

練度維持にやってきたお前にゃ軽すぎたろう?

フッ

…10分後に
侵入経路を
変えて再開だ

半数が
生き残るまで
何度でも
やるぞ！



構わないかしら

自分の顔に何か……

効きましたよあれは

ペッ

ここには
ペイント弾なんて
結構なものはないの

いかなる状況であれ
撃たれるよりは
撃つべきだと……

……そう体に覚えさせ
躾ける為に あれを
使ってるのよ

……

ギアを
着けていても
骨まで応える

初めて あれを
喰らった時は
痛さに朝まで
眠れなかったわ

来る日も来る日も
底意地の悪い
教官たちに
いいように
撃ち込まれて

床を転げ回って
涙を流して……

そうしてるうちに
こう思うように
なるのよ
あんな思いを
するぐらいなら

それがなんであれ
私の前に立つものは
全て撃ち倒して
やるって

銃を手に
立ち塞がる
ものあらば
これを撃て……

ですか

ハァ
ハァ

今じゃ
そう思う事も
なくなったわ

そう思う前に
体が動き
相手が倒れる

コロン

……何故
撃たなかった
の

……

あれが
実戦なら

あれは実戦
ではない

あれは訓練だ
違いますか？

訓練で動かない体がいざその時に動くとでも

ギュ

動くんですよ

……いや動かなければならない

だが今は動かしてはならない

……？

体が覚えてるんですよ…貴方の言葉で云うなら そう躾(しつ)けられてるんです

いかなる状況であれ先んじて攻撃を加えてはならないとね

ギギッ

平時に於ける
警察官の力の行使は

たとえ人命の殺傷に
至ったとしても
それは〈正当防衛〉
であり

〈制止〉という
行為の結果に
過ぎず

それが
法の正義の下に
執行される限りに
おいて

個々の警官が
倫理的に裁かれる
事はあり得ない

一方　国家の命令下に
敵対行動中の兵士は
通常とは逆の道徳律の
下に置かれ

その力の行使による
殺傷・破壊等の行為は

じゃみら！

それ自体が
倫理的にもむしろ
善として称揚される

だからこそ機を見て
異なる道徳律を要求
される者は

それ故に　その力の
行使にあたって
慎重を期さなければ
ならない

だが警察官であり
ながら絶えず騒乱の
現場にあって

兵士の如く
振る舞う特機隊

いわば平時にあって
有事を生きる貴方達には
判っている筈だ

平時の警察・
有事の軍……

その言葉それ自体が
実は平時に語られるべき
言葉に過ぎず

その本質において
優れた兵士である事を
要求される者に
あっては

有事こそが唯一の
平時そのものに
他ならない

では〈有事〉を
その存在の中心的課題
として創設されながら
未だ〈有事〉なる
ものの具体性を
提示されず

ただ兵としての練度の
向上のみを要求されてきた
我々は

一体どのような時を
生きるべきなのか？

ただ為政者の
都合のみによって
産み落とされ

その正統を
認知される事なく
力のみを蓄えて
育った鬼子…

……しかし
それでもなお

シュカ
シュカ
シュカ

〈組織された
暴力は〉
決して自ら
意思を持っては
ならない

この国の
ささやかな歴史は
そう教えているし

バ
バ
バ

行くぞ！

アオ！
ミドリ！

少なくとも
戦後に生を受けた
我々は そう躾け
られてきた

ドドド

（ある種の獣が
そうであるように）
我々にとって決断とは
考える事ではなく

体に繰り返し
教え込まれてきた
それであり
その過程を否定する事は
我々自身の存在を
否定するに等しい……

では誰が
我々の意思となる
べきなのか？

国家・人民・
イデオロギー……
だが〈正義〉が常に
誰かの正義であり
その執行によって常に
血が流されるものなら
我々が求める
〈主人〉もまた
そんな抽象的なもので
ある訳がないし
あっては
ならない

求めて得られる
ものなら
求めもしますが

出会う事でしか
得られぬもの

ゴォン
ゴォン

出会った その時に
〈血〉が それと教えて
くれるものこそ
我々の求めるものなら

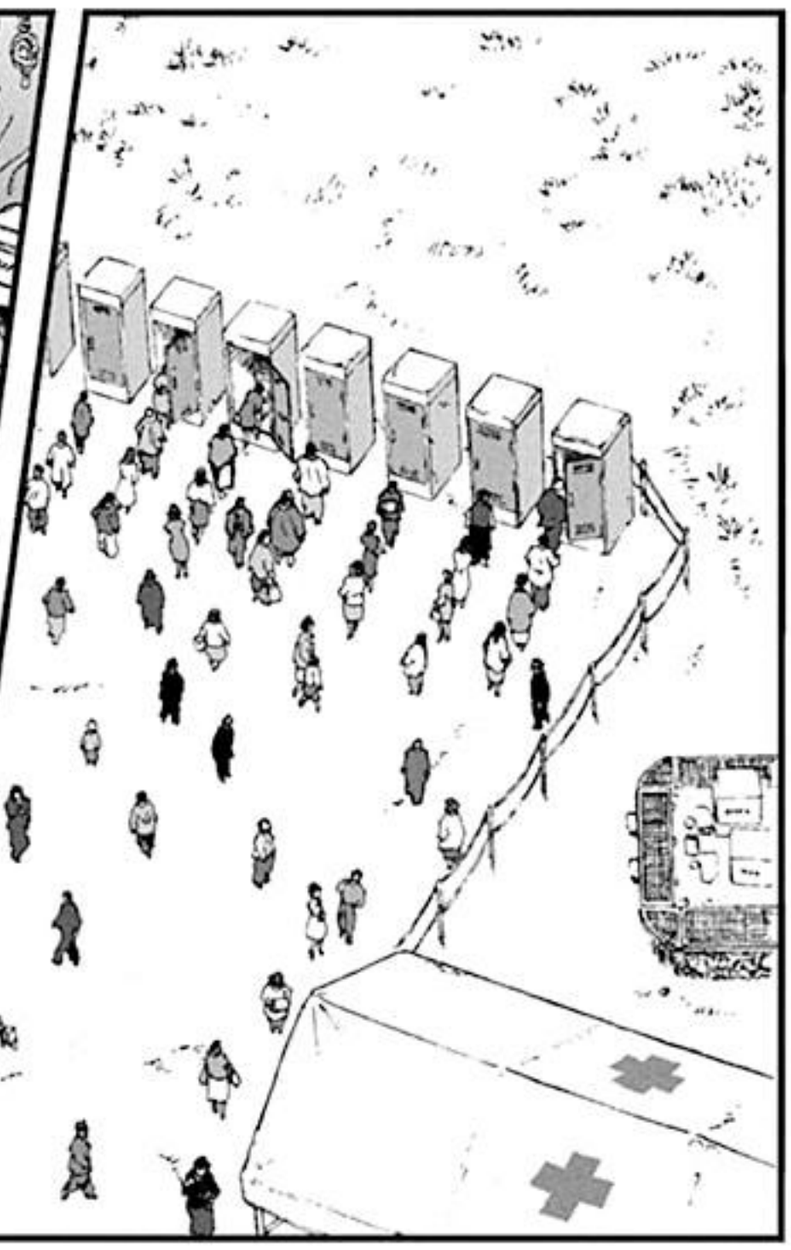
…待つだけです

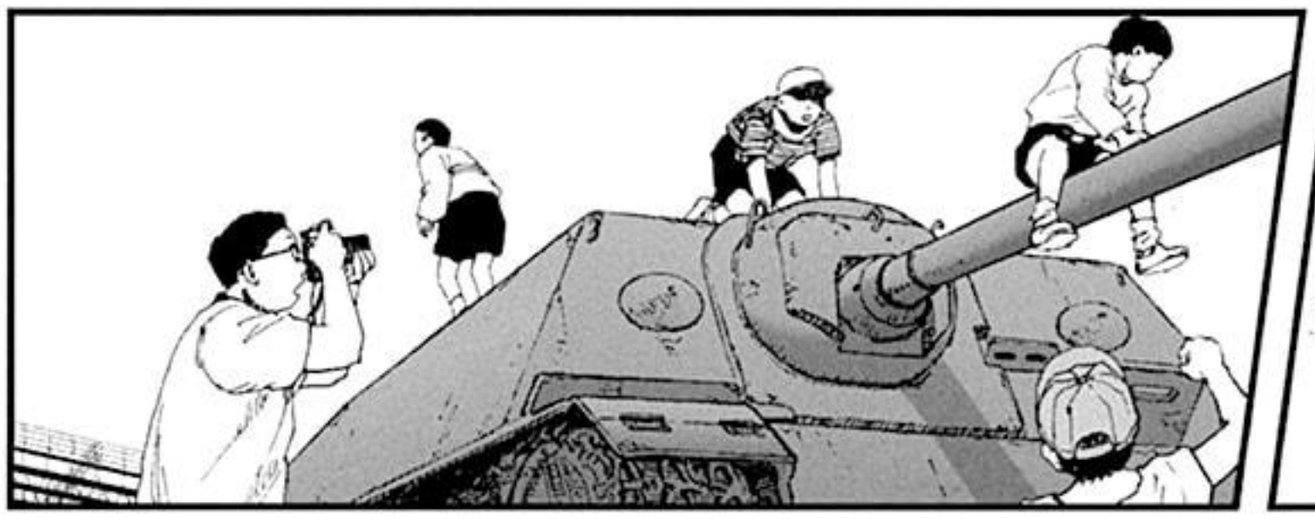
待つ事は
慣れましたし

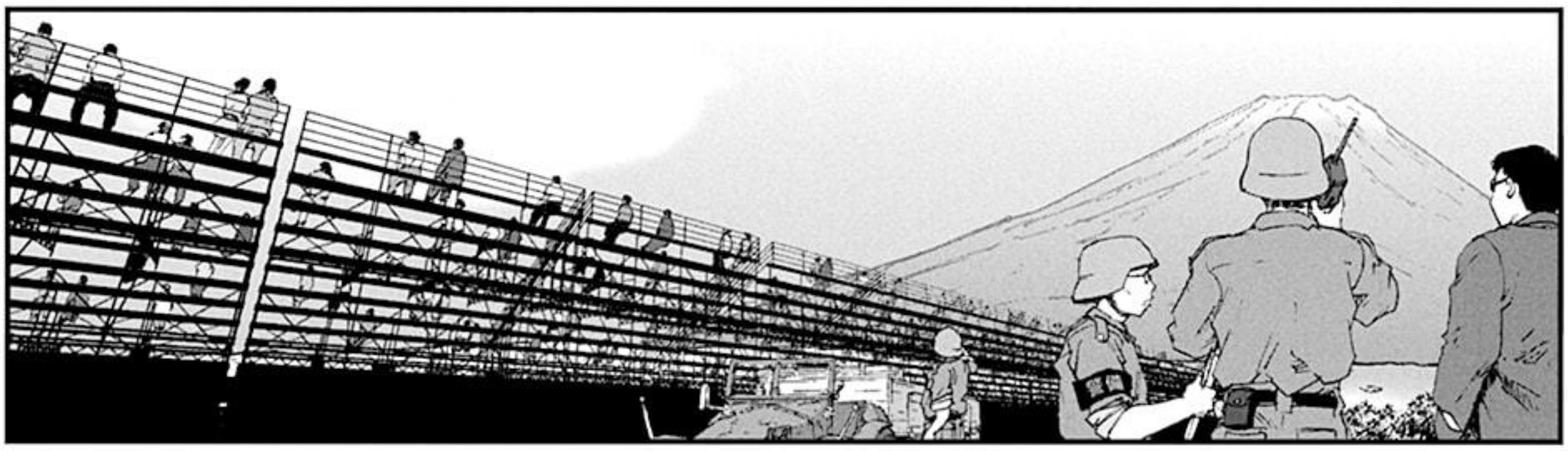
なにより
そう躾けられて
きたんですから

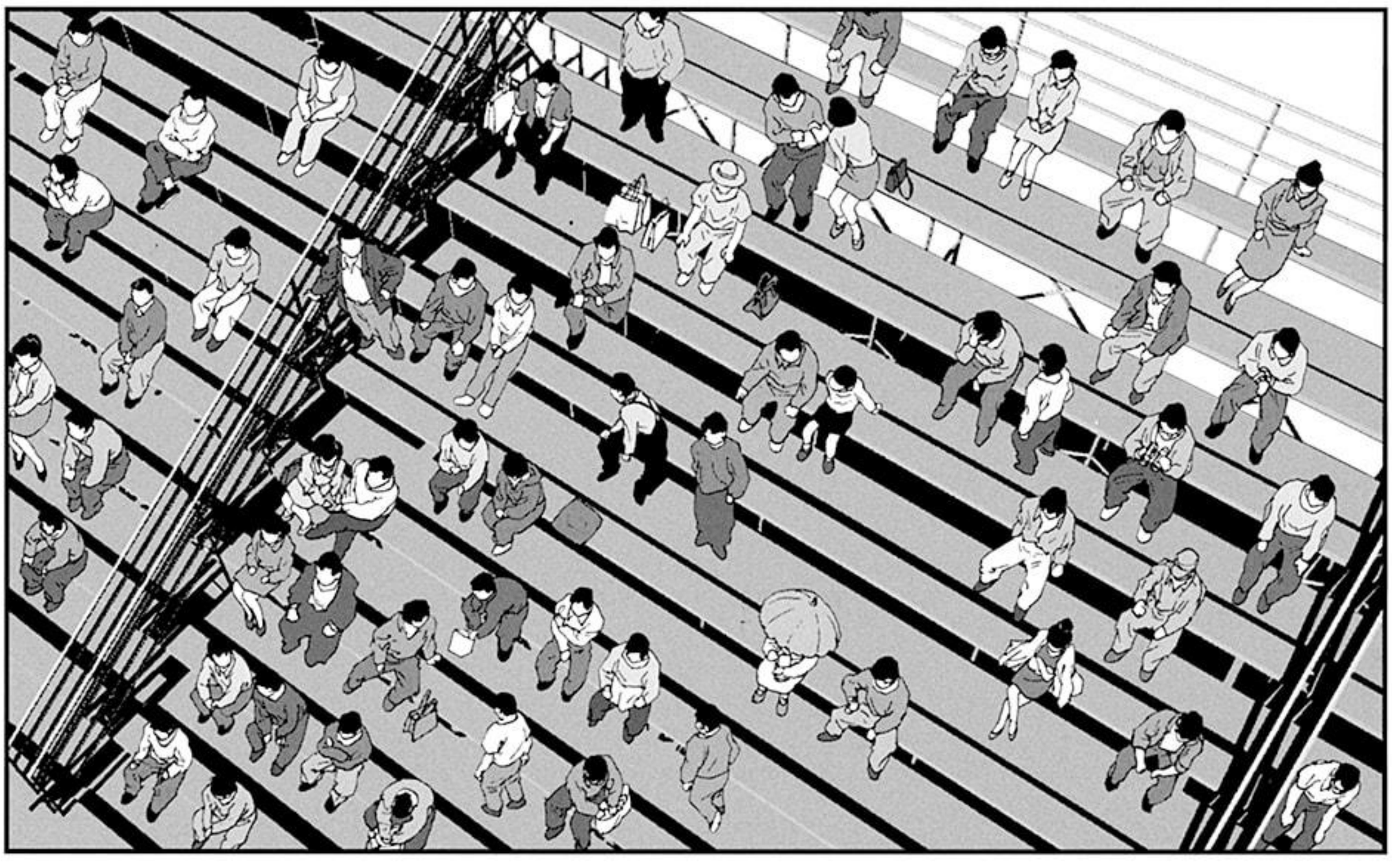
富士総合火力演習
12月17～20日
場所
東富士演習場
演習項目
①対機甲火力戦闘
②陣地火力戦闘
共通券
切り離し無効
本会場にてパスポートと
お引き替え下さい

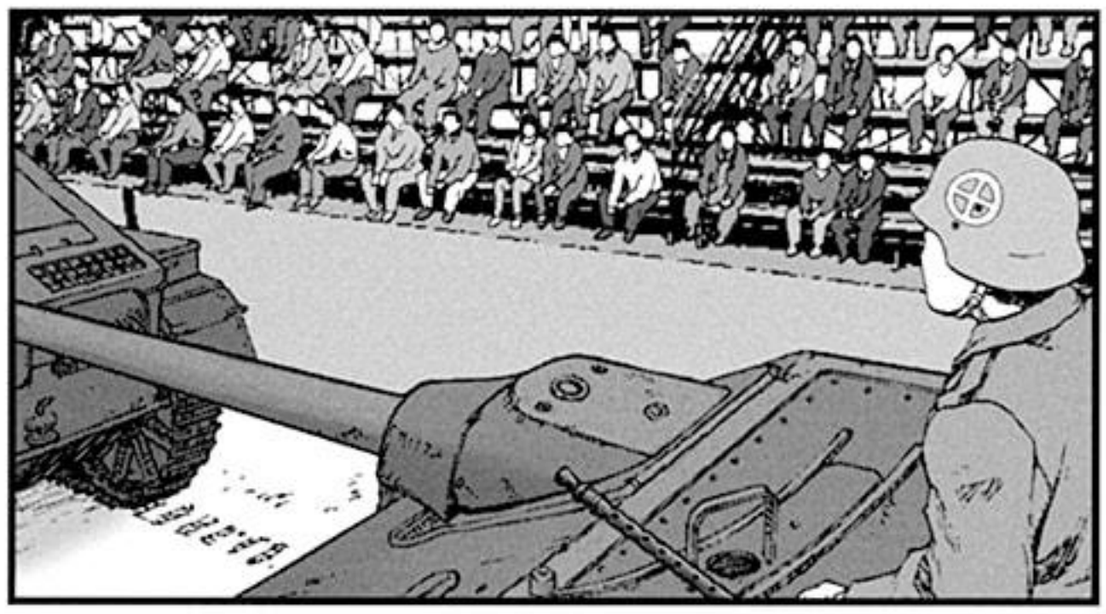
ポン
ポン
ポン

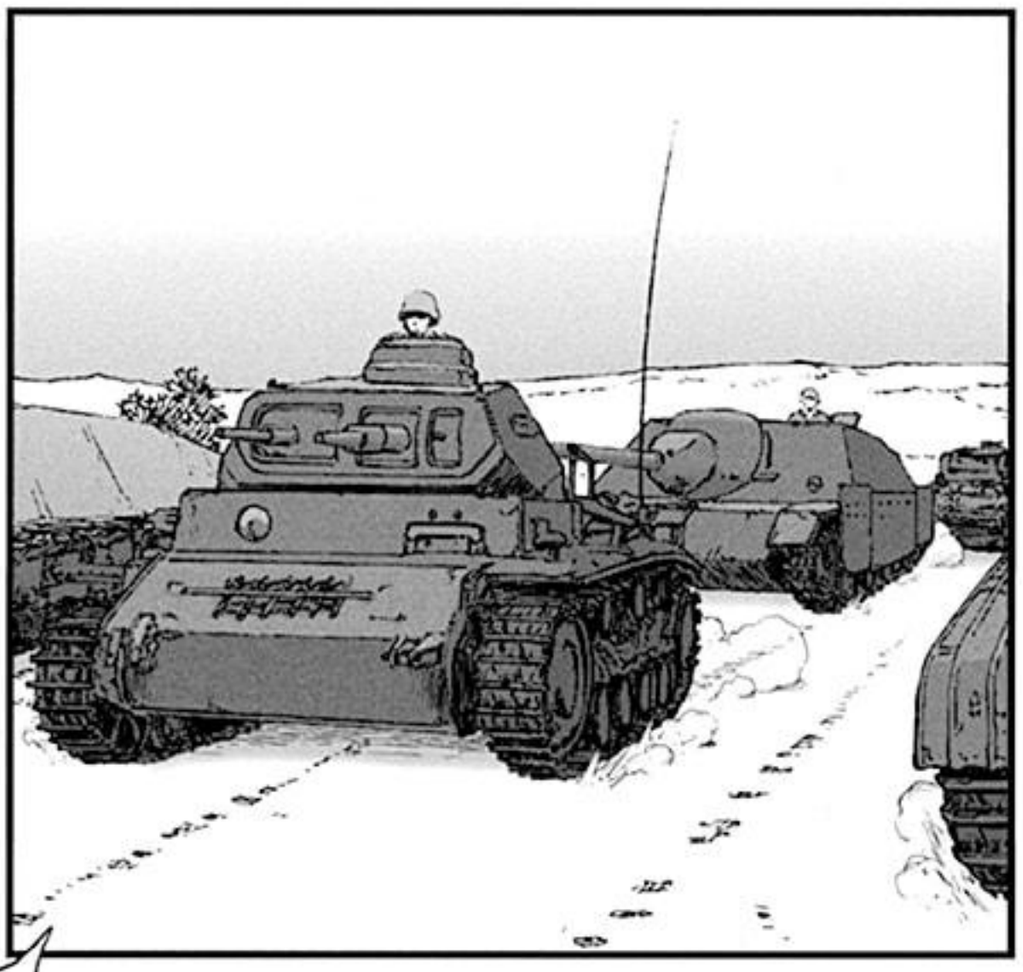






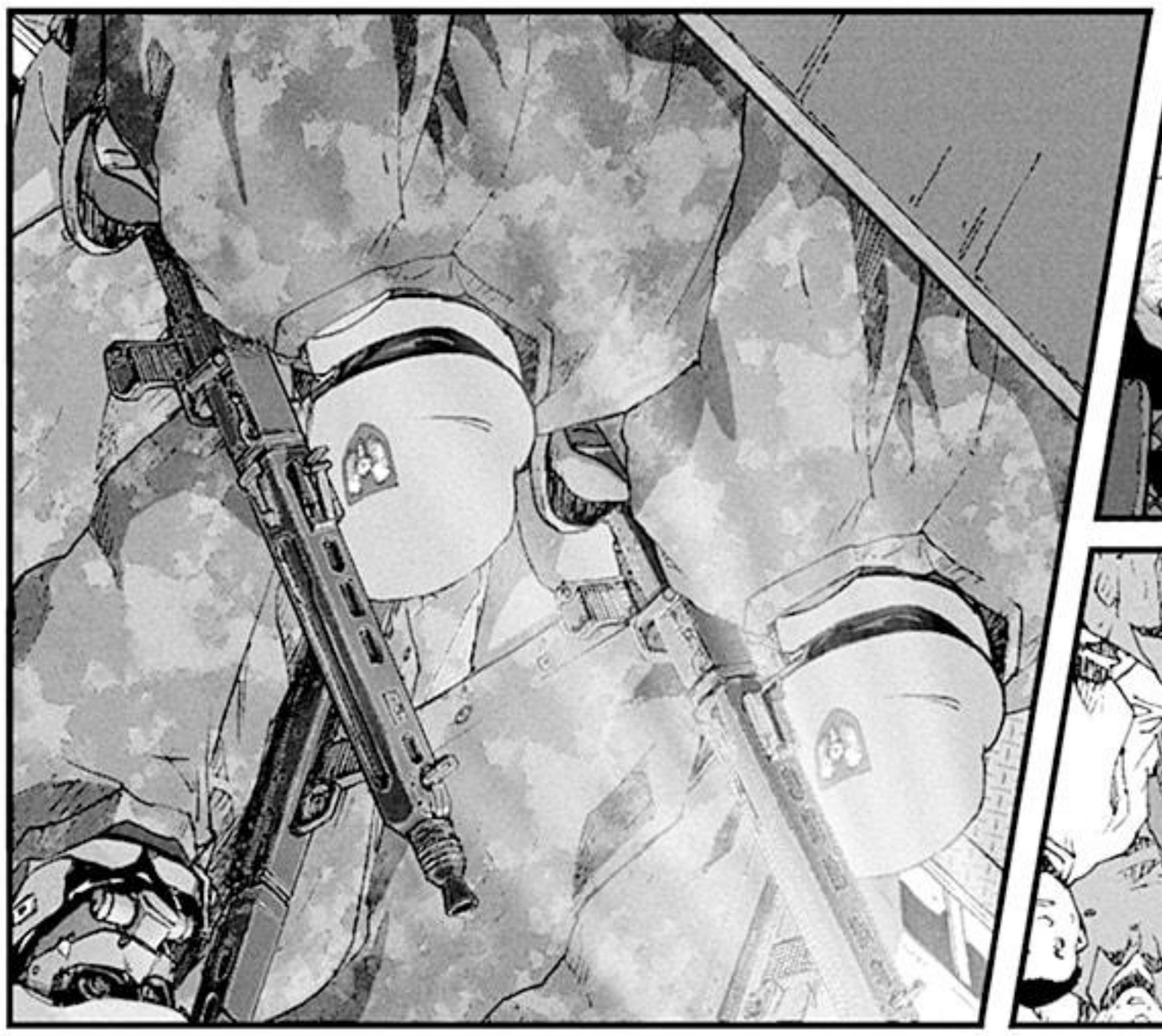


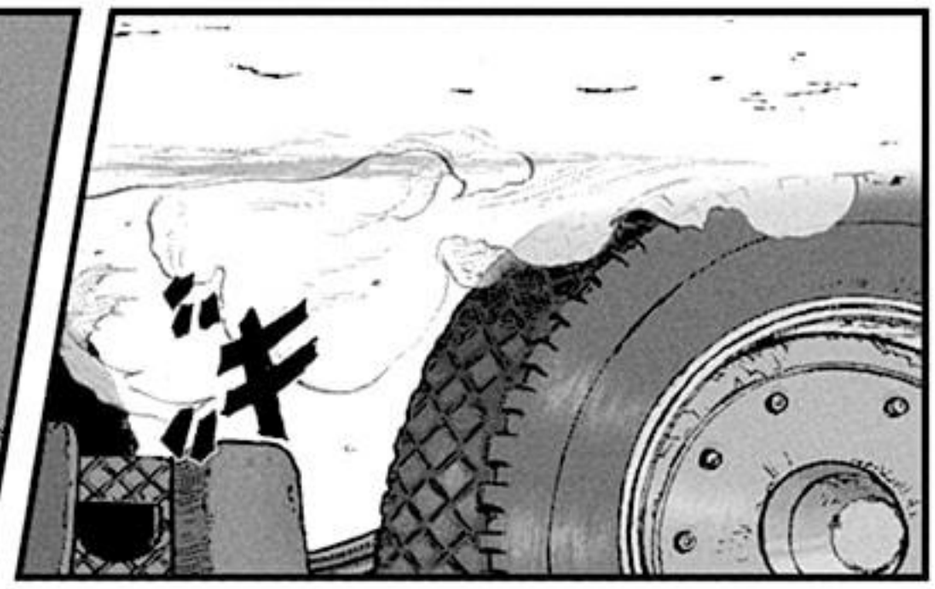


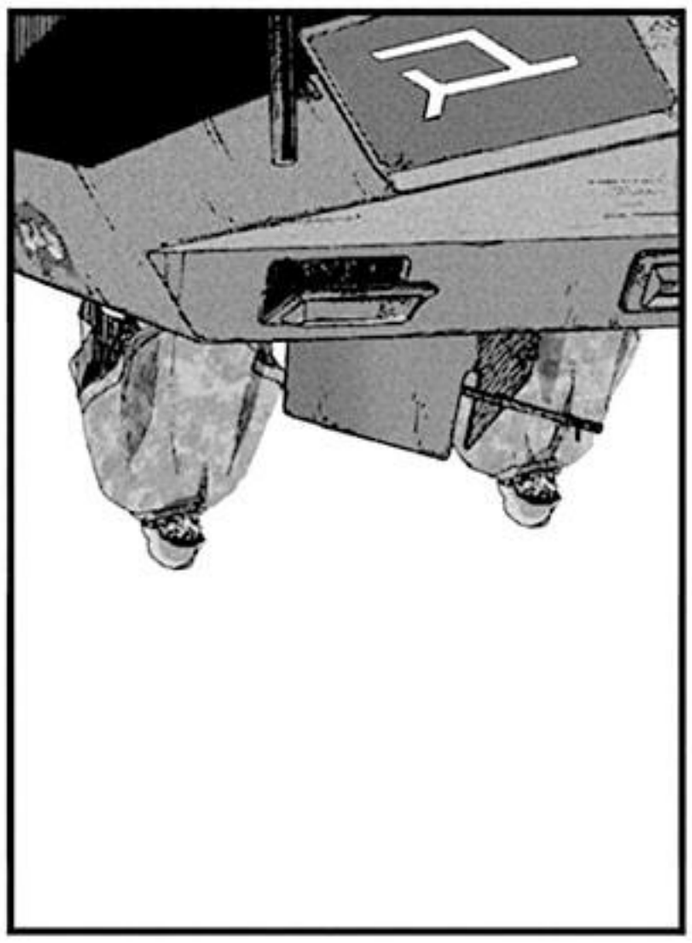


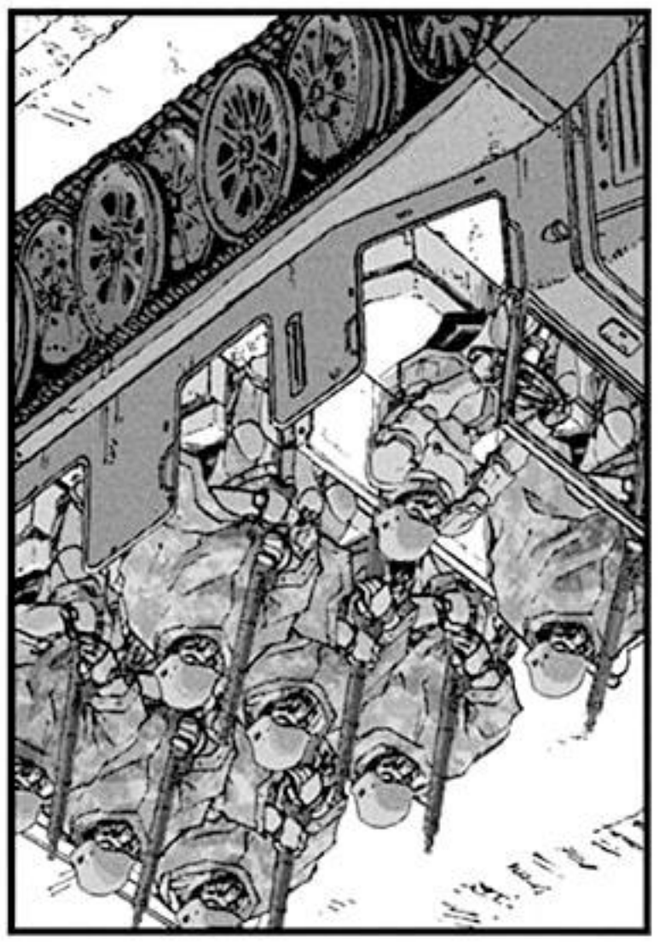
おおーおぉ

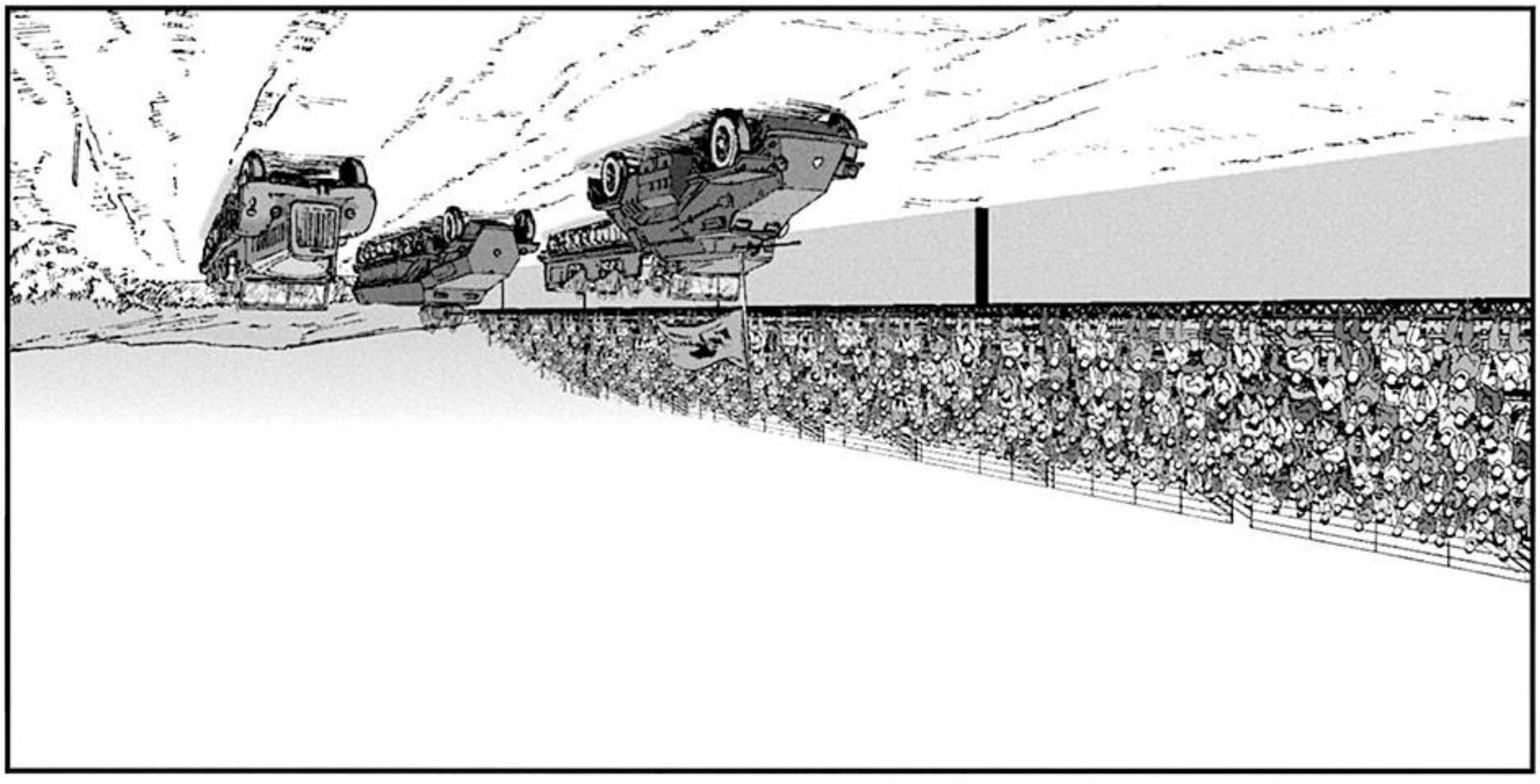
フフィ…

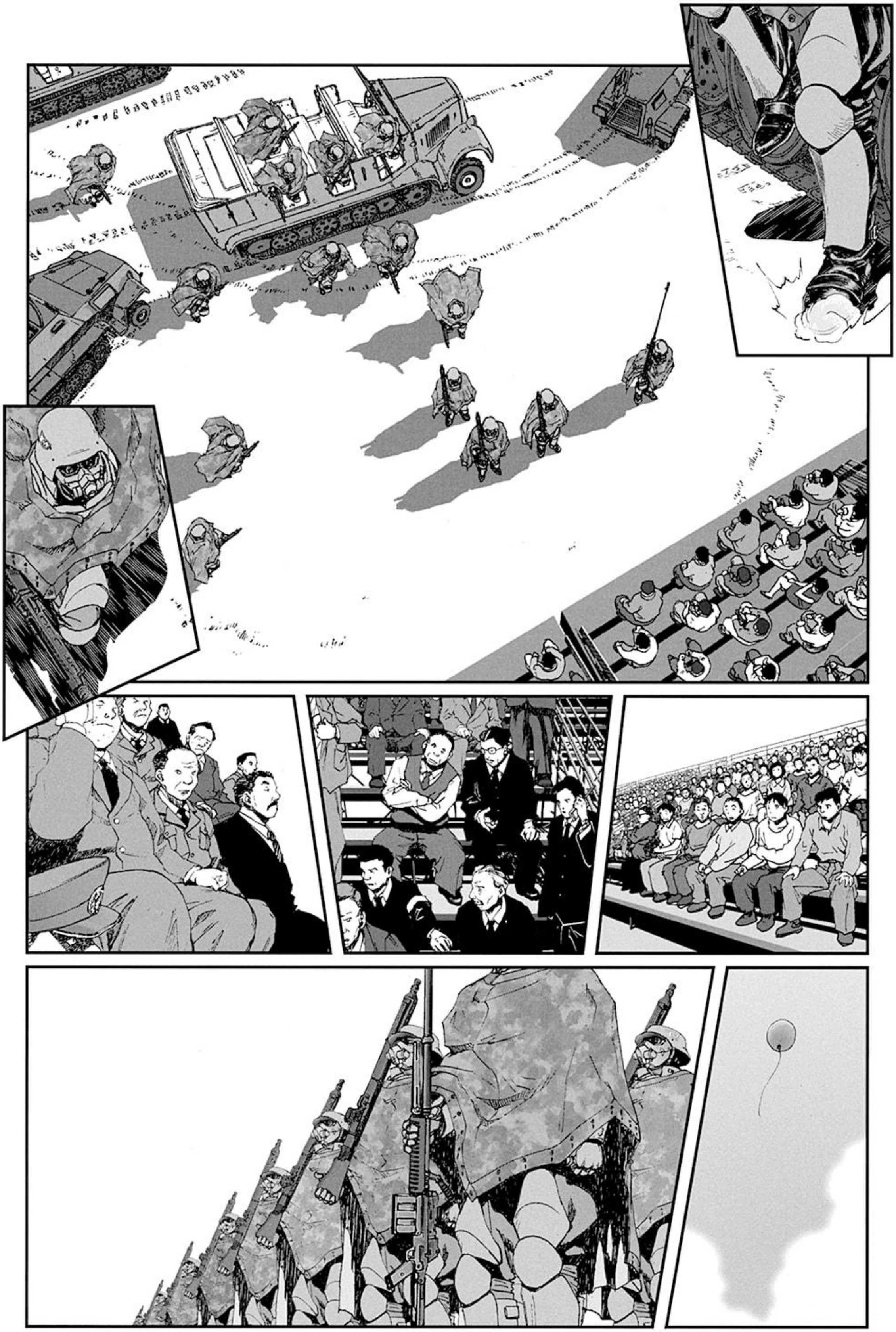


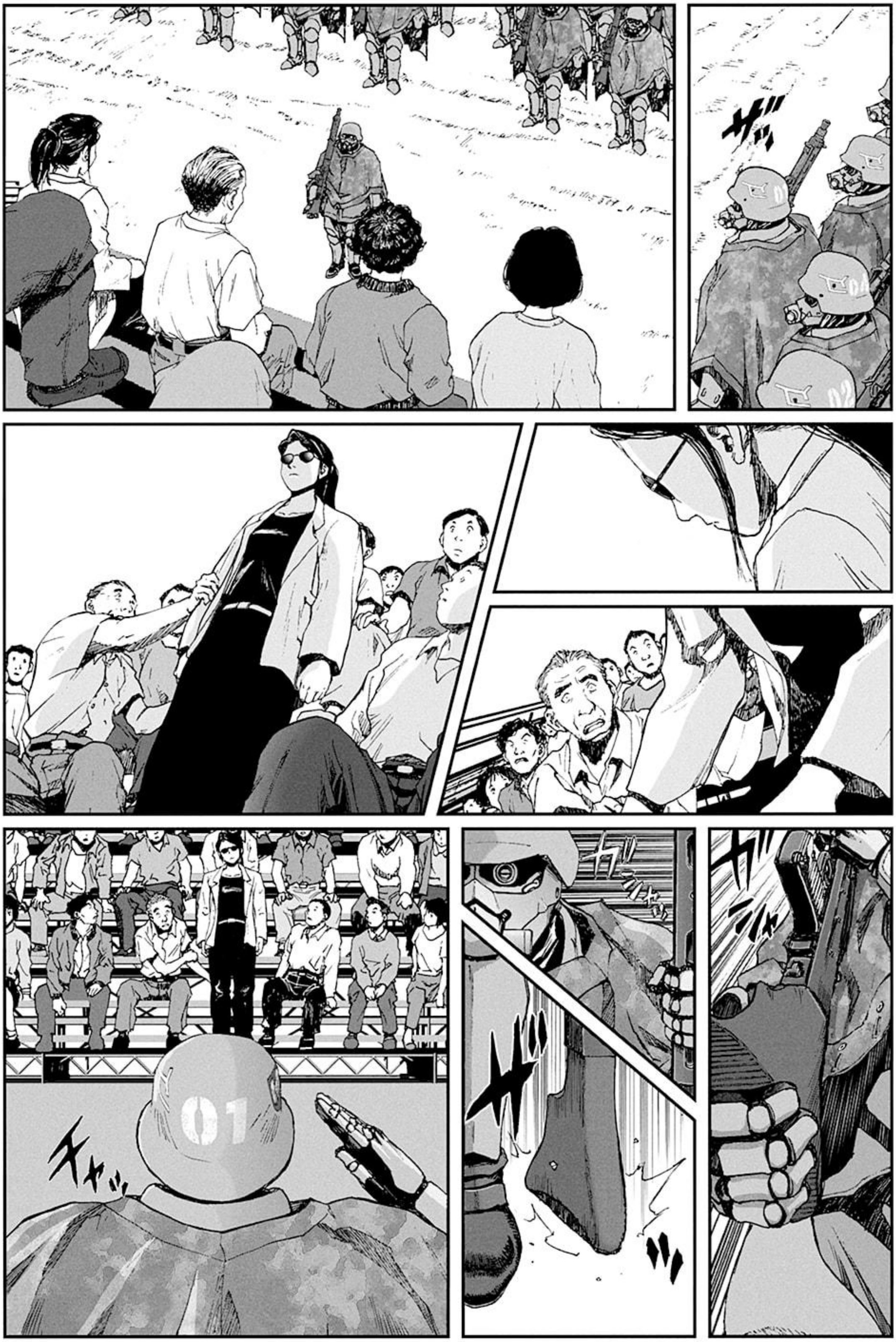


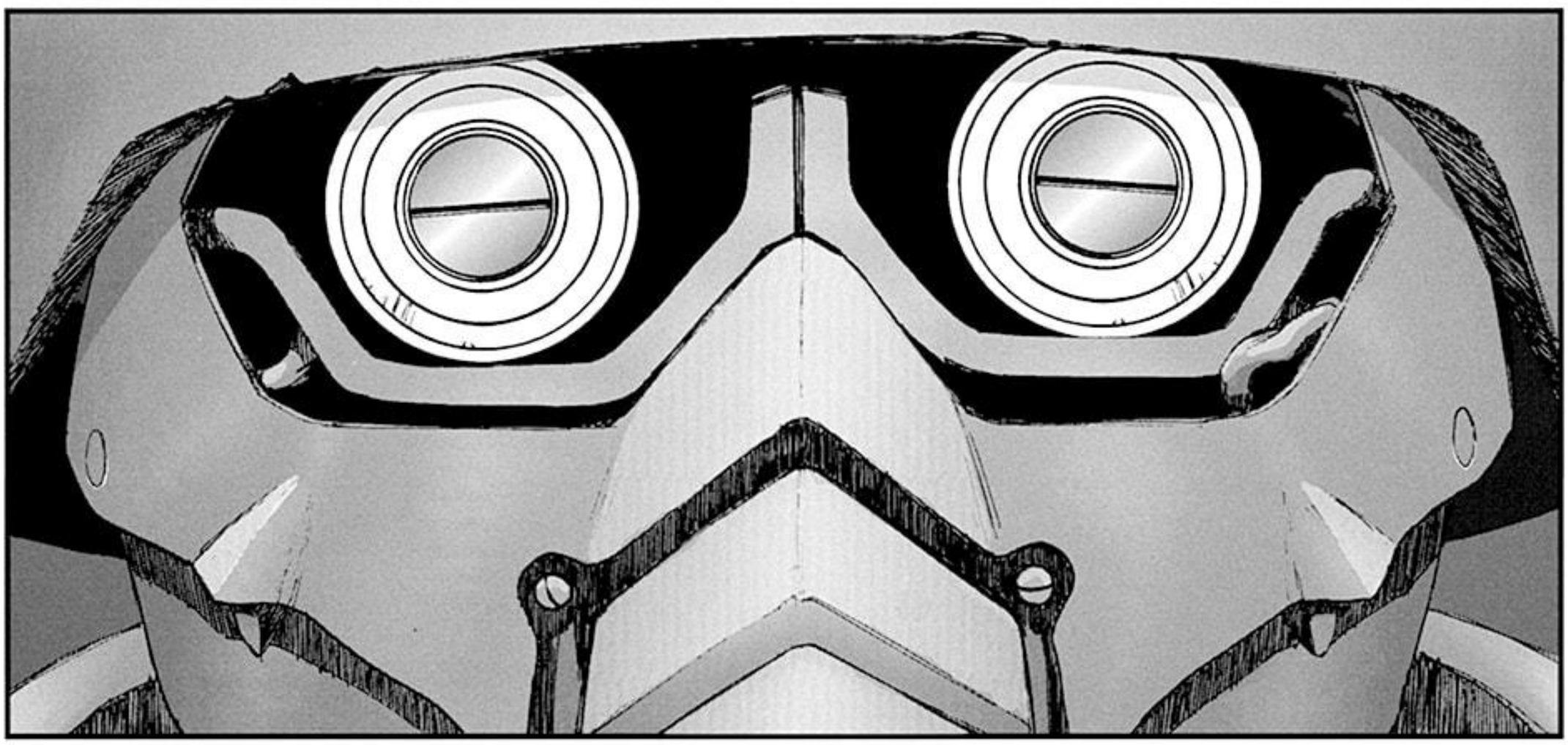












発行所　株式会社　双葉社
〒162-8540　東京都新宿区東五軒町3-28

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・無断転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。

この作品はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。